

妙安寺だより 389

喪中につき年頭のご挨拶をご遠慮させていただきます。

当山先代、稱量院日紀上人(門田正英)が1月24日に遷化いたしました。
明年も変わらぬご厚誼のほど、よろしく申し上げます。

初七日から七七日(四十九日)、その後の法事について②

先月号では、初七日から五七日までについてでしたが、今月は六七日と七七日についてです。

⑥七日 王・

ここに至るまでには一つの難所()がある。ここは八百里(約3200km)の河原があり、後ろからに追い立てられ走りながら、七日七夜進む。

変成王の前では3つの道が示され、そのどれかが仏になる道だと教えられ、選択をする。しかしながらどの道を選んでも、が深ければ地獄へ行き、を重ねていけば仏の世界に導かれる。ここでも決まらなければ次へと進む。

⑦七日(日) 王・

ここに至るまでにとこの難所がある。暗い事はえようがなく、昼夜の境もない。また道は細く、左右は鉄のがでており、その中を身を切りながら七日七夜進む。

泰山王の前に至り、ほとんどの方が(.....)に趣く事になる。

日蓮聖人は「しのろなれば、のじてにをうく。に四十九日のとぶらひ懇ろにむべし」と、追善供養の大切さを説かれています。(以下、次号)

***地涌の声・功德主 募集(2・3・4・6・8・9・10の各月)**

***平成29年 1月1日～3日 午前11時 午後1時 三が日回向・祈願**

***平成29年 1月15日(日) 午後2時 鏡開き・大黒祭**

***三が日回向・祈願のお札、並びに方除・星祭りのお札は、節分の後にお渡ししますが、郵送を希望される方は送料五百円を添えて、申し込むください。**

***12月23日～30日までは18時に閉門します。それ以外、2月までは17時に閉門し、閉門中は番犬を放しています。**